

事務事業評価における総括

部 局 名	保健所	記入責任者	中田 和美
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>保健所の業務計画に位置付けた事業では、34 事業すべてが指標を達成して S 評価とされていることから、順調に進捗しています。</p> <p>事業全体としては、保健企画課の試験検査（一般依頼）事業が指標を達成できず今後の成果を見込めないことから E 評価とし、地域保健課の救急医療機関外国籍市民対策事業については、申請が無く、該当する事案が無かったことから実績なしとし、健康増進課の肝炎ウイルス検診事業、成人歯科検診事業、保健指導事業については成果が今後見込めることから C 評価とし、機能訓練事業など 6 事業については、業務の廃止、統合等により実績なしとしていますが、保健所全体についてはおおむね順調に進捗しています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>保健予防課及び衛生課については、県より移譲を受けた事業が大部分を占めていますが、全事業について指標を達成することができたとして S 評価としています。</p> <p>E 評価とした試験検査（一般依頼）事業については、検査検体数が目標値に達していなかったことから、市民ニーズなどにより、年々検査受付件数は減少傾向にあることに原因があったと分析しています。また、C 評価とした肝炎ウイルス検診事業については、平成 29 年度より受診履歴のない市民に対する検査に限定するなど対象者を見直したことに原因があったと分析しています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、継続して進めていきますが、一方で目標値を達成できなかった事業もあるため、政策・施策目標の達成に向けて、事業実施手法の見直しや再度全体の事業の見直しを行う必要があります。</p> <p>具体的には、試験検査（一般依頼）事業については、平成 32 年度を目標として、事業の見直しや廃止により事業の効率化や人員の重点化を行い、また、健康増進事業及び食育推進事業については、平成 31 年度を目標として、審議会を統合し、政策・施策目標の達成に向け、事業の効果的、効率的な実施を図ります。</p>			